

F C 延 岡 A G A T A



節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
1	沖縄SV	A	● 0 - 2	まず、コロナ禍の中九州リーグが開催された事心より感謝致します。 また、リーグ開催にあたり九州サッカー協会の関係者の皆様や沖縄県サッカー協会の関係者の皆様、審判団の皆様、ありがとうございました。 九州リーグ加入初年度となり、コロナ禍の中中々準備期間も少ない中で、選手はよく2日間今出来る全力を尽くしてくれたと思います。
2	KMGホールディングスFC	H	○ 4 - 0	昨年度優勝チーム、沖縄SVさんとの試合では難しい状況が続きましたが、課題を次に繋げたいと思います。 次節のKMGホールディングスFCさんとの試合では、初の九州リーグで勝つことができ良かったです。改善点も出たので次に繋げていきたいと思います。 対戦して頂きました、沖縄SVさん、KMGホールディングスFCさん、当日会場を運営して頂いた皆様、ありがとうございました。
3	日本製鉄大分	H	△ 1 - 1	初の九州リーグ延岡開催という事で、多くの方に足を運んで頂きました。 結果は1-1の引き分けで、観に来て頂いた方々に勝利する姿を見せられなかったのはとても残念でした。 ですが、選手達は全力を尽くしたので次に繋がる試合になったと思います。 試合の立ち上がりから運動も良く、得点出来たのは良かったです。良い流れで追加点を取れなかった所が試合の決め手になったと思います。 攻め込む時間が多い中で、攻撃のバリエーションとフィニッシュの精度を向上しなければいけないと感じました。 今節を振り返り、チームとして共有しながら毎試合チームが成長出来る様に頑張ります。 対戦して頂いた、日本製鉄大分サッカー部様ありがとうございました。また、ホーム初開催にあたり多くのボランティアスタッフや運営に関わって下さった方々、宮崎県サッカー協会の皆様、審判団の皆様ありがとうございました。
4	BrewKASHIMA	H	○ 2 - 0	延岡でのホーム2戦目は今シーズン負けなしのBrewKASHIMAさんとの対戦でした。 ホームの雰囲気をサポートが作ってくれ、選手もモチベーション高く試合に入れました。 試合は、BrewKASHIMAさんの強固な守備を中々崩せず今節も引き分けかと思ったところにチャンスが来て決めきることができました。 改めて九州リーグの難しさを感じたゲームでした。ホームで初めて勝つことができ、クラブの歴史的1日となりました。 対戦相手のBrewKASHIMA様、審判団様、運営をご協力していただいた皆様に感謝申し上げます。 次回のゲームまで少し時間が空きますので、いい準備をしてNIFS KANOYA戦を迎えたいと思います。
5	試合なし			
6	NIFS KANOYA FC	H	○ 6 - 0	先週試合が無く課題にしっかり取り組むことができました。立ち上がりから私たちの目指しているサッカーを選手たちが表現してくれ、前半で3得点をあげることができました。 しかし、NIFS KANOYA FCさんの鋭いカウンターや豊富な運動量を活かした多彩な攻撃にて何度かピンチもありましたが、全員が体を張って守ってくれました。後半も選手が継続してハードワークをしてくれたお陰で、3得点あげることができ連勝することができました。 本日も多くのサポーターが来場していただき、サポーターの応援が選手たちの背中を押してくれたと思います。 最後になりますが、延岡まで来ていただいたNIFS KANOYA FCの皆さま、審判団の皆さま、ボランティアスタッフの皆さまありがとうございました。
7	熊本県教員蹴友団	A	○ 3 - 0	しっかりとブロックを敷く相手に幸先よく先制することができましたが、その後はゴール前までスムーズに運ぶ事ができるも追加点を奪うことができません。 ハーフタイムで一度整理をし後半には2ゴールを追加することができました。まずは90分ハードワークしてくれた選手たちに感謝したい。 そして試合を通して様々なバリエーションから20本のシュートを打つことができたことを評価しつつ更に質を求めていきたい。 また、延岡から多くのファン、サポーターの皆さまが応援に来ていただきありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。 最後に運営をしていただいた熊本県教員蹴友団の皆さま、ボールパーソンの皆さま、審判団の皆さまありがとうございました。

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
8	ジェイリースFC	H	○2-0	難しい試合になると予想してましたが、前半は守備をする時間帯が長く、走らされ体力の消耗が激しかったと思います。ハーフタイムにて攻撃の意思統一をしピッチに送り出すと後半何とか2得点することができました。危ないシーンも多くありましたが全員が体を貼ってくれました。しかしながら多くの課題が見つかりましたので、またトレーニングにて修正していきます。本日は多くのサポータにご来場いただきました。素晴らしい環境でゲームできたことに感謝します。対戦相手のジェイリースFC様、運営していただいた延岡市サッカー協会様、九州保健福祉大様、アカデミーのみんなありがとうございました。
9	川副クラブ	A	○3-0	第9節は川副クラブさんとのゲームでした。ゲームの入りから目指しているサッカーを中々できず、決定的場面も全く入らない苦しい展開でしたが、前半35分に何とかコーナーキックから1点を取れ、後半に2点を追加する事ができました。ピンチの場面もありましたが失点しなかったのが救いです。まだまだ選手の良さをトレーニングから突き詰め、最大限に成長させないといけないと思ったゲームでした。運営していただいた川副クラブ様、Brew KASHIMA様ありがとうございました。また現地、速報で応援いただいたサポーターの皆さまもありがとうございました。
10	ヴェロスクロノス都農	H	△1-1	まず初めに集中開催にあたり、川副クラブの皆様、Brew KASHIMAの皆様、佐賀県サッカー協会の皆様、ボールパーソンの皆様、また開催にご尽力いただいた関係する全ての皆様に感謝申し上げます。ヴェロスクロノス都農戦は前半の入りが良く、早い時間に先制出来たのは良かったですが、次第に都農さんのペースに持って行かれて後半で失点。その後、点を取りに行く姿勢を選手が出してくれたのは成長を感じましたが、力がまだまだ足りませんでした。出た成果と課題をもう一度振り返り、チームと選手が成長出来る様に頑張ります。
11	海邦銀行SC	A	○4-2	2日目の海邦銀行戦は前半は、PKのチャンスもありながら決めきれず。海邦銀行さんの粘り強い守備に苦戦しました。後半は、交代選手の活躍により4点取る事ができましたが、自分達のミスにより2失点と課題の残る試合になりました。前期をもう一度振り返り、チームで共有して後期巻き返しを図ります。
12	沖縄SV	H	●0-2	後期開幕の集中開催初戦は、首位の沖縄SVさんとの対戦でした。私たちの特徴を前面に出して挑んだ一戦でした。チャンスは作るが得点にならない。しっかりとチャンスをものにする首位チーム相手の強さを感じた試合でした。
13	KMGホールディングスFC	A	○6-0	13節のKMGホールディングスFCさんとの試合は、もう一度目指すところを明確にし挑んだ試合でした。いい時間帯に得点することができ、勝利しました。最後まで走り切った選手たちを讃えたいと思います。しかし、チーム、個人で課題も多く見つかりましたので今後のトレーニングにて改善していきます。この集中開催で対戦相手のチームよりまた色々勉強させていただきました。ありがとうございました。また2日間、運営していただいた沖縄SV様、海邦銀行様、沖縄県サッカー協会様、ボールパーソンの皆様、審判団の皆様、暑い中本当にありがとうございました。
14	日本製鉄大分	A	○3-0	第14節は日本製鉄大分さんとの試合でした。日本製鉄大分さんの強固な守備をどう崩すかをトレーニングで積み上げてきました。前半は、攻撃の時間が多かったが、相手DFやGKの体を張ったゴール前の守備に苦戦しました。後半はいい時間帯に得点でき3点取れることができました。前期の引き分けを勝ちに持っていかけてよかったです。しかしまだまだ課題だらけですので、チームで成長していきます。運営していただいた日本製鉄大分様、ボールパーソンの皆様、審判団の皆様ありがとうございました。また、多くのサポーターの皆様もありがとうございました。
15	BrewKASHIMA	A	○8-0	試合前でのセレモニーでは、鷹が審判のホイッスルを持ってくるという素晴らしい演出もありました。 試合の方は選手たちがいい状態で試合に入ってくれ、序盤から連続ゴールで優位に試合を進めることができました。 後半は攻撃される場面や集中を欠いたミスなどもありましたがなんとか失点せずを終了することができました。 試合を運営していただいたBrewKASHIMAの皆様、ボールパーソンの皆様、審判団の皆様、暑い中本当にありがとうございました。
16	試合なし			

節	対戦相手	H/A	試合結果	談話（コメント）
17	NIFS KANOYA FC	A	○3 - 0	第17節はNIFS KANOYAさんとの一戦でした。 非常に気温の高い中、ハードワークを求めて選手たちを送り出しました。試合はお互い攻守の切り替えが早く、運動量の多い試合となりました。 たまたま私たちが3点決めれましたが、NIFS KANOYAの選手たちの最後まで諦めずに戦う姿は見習うものがありました。 この暑さの中、走り切った選手たちを讃えたいと思います。 最後に対戦相手のNIFS KANOYA様、審判団、運営をしていただいた鹿屋体育大の皆様、暑い中ありがとうございました。
18	熊本県教員蹴友団	H	○12 - 0	本日は、久々のホーム戦でした。 暑い中、選手には最後まで走り切ることや観に来てくれた方にプレーで感動を与えることなどを共通認識のもと試合に送り出しました。 試合は攻撃する時間が長く、多くの得点が生まれました。最後まで戦ってくれた選手たちに感謝です。 アウェイの地までお越しいただいた熊本県教員蹴友団さま、審判団、運営協力のジュニアユースのみんな、ボランティアスタッフの皆さま、そして500名近いサポーターの皆さま、本日はありがとうございました。
19	ジェイリースFC	A	●0 - 1	第19節はアウェイにてジェイリースFCさんとの対戦でした。 試合前、目の前の相手に負けないことや走り切ることなどを意思統一し試合に挑みました。 前半は押し込まれる時間帯が多く、早い時間で失点をし試合が難しくなりました。その後も攻撃される時間が続きましたが連続失点をしなかったことが救いです。後半は少しだけ攻撃できましたが崩すことができず完敗となりました。 ジェイリースFCさんの気迫を感じるゲームでした。今回出た課題をしっかりと修正し、次節に挑みたいと思います。 最後に対戦していただいたジェイリースFCさま、審判団、ボールパーソンの皆さま、運営していただいた皆さまありがとうございました。
20	川副クラブ	H	○4 - 0	ホーム最終戦の相手は川副クラブさんとの対戦でした。 もう一度、自分たちのサッカーを追求し挑んだ一戦でした。 前半立ち上がりからAGATAの攻撃する時間が多かったが中々得点が入らなかったが、何とか前半得点でき、後半に入っても3点を追加し勝利することができました。最後までハードワークをした選手を讃えたいです。 最後にアウェイチームの川副クラブ様、審判団、ボールパーソンの皆様、ありがとうございました。